

2025年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月15日

上場会社名 and factory 株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7035 URL <https://andfactory.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 倫治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 蓮見 朋樹 (TEL) 03-6712-7646
 定時株主総会開催予定日 2025年11月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2025年11月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期の連結業績 (2024年9月1日～2025年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期	3,209	—	△270	—	△266	—	△326	—
2024年8月期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年8月期 △319百万円 (—%) 2024年8月期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年8月期	△28.95	—	△36.8	△13.0	△8.4
2024年8月期	—	—	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 2025年8月期 ー百万円 2024年8月期 ー百万円

(注) 1. 2025年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

2. 当社は、2025年8月期より連結財務諸表を作成しているため、2024年8月期の数値及び対前期増減率並びに2025年8月期の対前期増減率については記載しておりません。また、「自己資本当期純利益率」及び「総資産経常利益率」は連結初年度のため、それぞれ期末自己資本及び期末総資産額に基づいて計算しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年8月期	2,020	892	43.9	78.79
2024年8月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 2025年8月期 887百万円 2024年8月期 ー百万円

(注) 2025年8月期より連結財務諸表を作成しているため、2024年8月期の数値については記載しておりません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年8月期	△428	△122	△151	860
2024年8月期	—	—	—	—

(注) 2025年8月期より連結財務諸表を作成しているため、2024年8月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)									
	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	3,072	△4.2	0	—	0	—	0	—	0.00

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社（社名）株式会社サウスワークス、除外 1社（社名）—
(注) 詳細は、添付資料12ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（連結範囲の重要な変更）」をご覧ください。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
(注) 詳細は、添付資料12ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更に関する注記）」をご覧ください。

- (3) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2025年8月期 | 11,261,970株 | 2024年8月期 | 11,261,970株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年8月期 | 277株 | 2024年8月期 | 257株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2025年8月期 | 11,261,696株 | 2024年8月期 | 11,261,713株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年8月期の個別業績（2024年9月1日～2025年8月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期	3,108	△38.1	△267	—	△266	—	△323	—
2024年8月期	5,024	68.7	△317	—	△344	—	88	11.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期	△28.73	—
2024年8月期	7.90	7.90

(注) 2025年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年8月期	1,967	893	45.2	79.01
2024年8月期	2,627	1,209	46.0	107.41

(参考) 自己資本 2025年8月期 889百万円 2024年8月期 1,209百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「１．経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算説明会資料は当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結範囲の重要な変更)	12
(会計方針の変更に関する注記)	12
(連結損益計算書関係)	12
(セグメント情報等に関する注記)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

当社グループは、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度との比較分析は行っておりません。

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループの主要な事業領域である電子書籍市場については、2023年度の市場規模は6,449億円であり、そのうちコミックが占める割合は87.6%、2024年度の市場規模は6,703億円と前年度から3.9%増加し、そのうちコミックが占める割合も87.7%の5,878億円と市場全体としては伸びていますが、成長率は2023年度に続いて2024年度も一桁%となり、市場は成熟期に移行しているといえます。

また、2025年度の成長率は4%程度となると見られ、今後も緩やかに拡大基調で、2029年度までの年平均成長率は3.1%、市場規模は8,000億円弱になると予測されます。（インプレス総合研究所の「電子書籍ビジネス調査報告書2025」より）

このような環境の中、当社グループは、「日常に&を届ける」をミッションとして掲げ、中核事業となるAPP事業において、主に大手出版社と共同開発したスマートフォン向けのマンガアプリの収益拡大に注力してまいりました。

当社グループにおいては、前事業年度に販売用不動産の売却売上を計上しており、当連結会計年度の売上高は大きく減少しましたが、不動産売却を除くベースにおいては、前事業年度から横ばいの結果で着地しました。営業利益は前事業年度の販売用不動産の売却に伴う一時的な評価損が縮小となる一方で、主力事業であるマンガ事業において、新規事業コストの投資が重なり営業損失で着地しました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は3,209,035千円、営業損失270,051千円、経常損失266,186千円、親会社株主に帰属する当期純損失326,080千円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(APP事業)

当連結会計年度において、新規連結した株式会社サウスワークス、事業譲受した「ソク読み」課金売上、占い事業の「星ひとみの占い」「uraraca電話占い」がAPP事業の売上増加に寄与しました。

一方で、既存のマンガアプリ及びWEBサービスには、人気作品の完結による連載終了の影響を受け、MAU（注1）が減少しましたが、人気作品のメディア化及びオリジナル作品の販売が好調なことから課金ARPUならびに広告ARPU（注2）はともに伸長しました。

この結果、当連結会計年度におけるAPP事業の売上高は3,063,165千円、セグメント利益は59,926千円となりました。

- (注) 1. Monthly Active Userの略称であり、1ヶ月に一度でもアプリを利用したユーザーの数を指します。
2. Average Revenue Per Userの略称であり、ユーザー一人当たりの収益単価であります。

当社グループのAPP事業において運営するスマートフォンアプリのうち、「マンガアプリ」の四半期毎の平均MAU数の推移は下表のとおりであります。

(単位：万人)

年月	平均MAU数	年月	平均MAU数
2018年5月末	204	2022年2月末	1,044
2018年8月末	238	2022年5月末	1,121
2018年11月末	279	2022年8月末	1,152
2019年2月末	362	2022年11月末	1,129
2019年5月末	430	2023年2月末	1,105
2019年8月末	532	2023年5月末	1,140

2019年11月末	641	2023年8月末	1,161
2020年2月末	720	2023年11月末	1,126
2020年5月末	906	2024年2月末	972
2020年8月末	994	2024年5月末	971
2020年11月末	1,026	2024年8月末	943
2021年2月末	1,054	2024年11月末	905
2021年5月末	1,056	2025年2月末	899
2021年8月末	1,101	2025年5月末	887
2021年11月末	1,046	2025年8月末	875

(RET事業)

当連結会計年度において、円安の影響により外国籍の宿泊者数が好調に推移しており「&AND HOSTEL」の稼働率は引き続き高水準を維持し宿泊売上は堅調に推移しました。不動産アドバイザー報酬及び宿泊物件の売買仲介手数料による売上も収受し、売上及び利益に寄与しました。

この結果、当連結会計年度におけるRET事業の売上高は119,087千円、セグメント利益は27,996千円となりました。

(その他事業)

主にマンガのIPを広告等に活用する事業を実施しております。

当連結会計年度におけるその他事業の売上高は26,783千円、セグメント損失は3,382千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は2,020,456千円となりました。主な内訳は、現金及び預金860,671千円、売掛金533,725千円、立替金200,259千円であります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は1,127,644千円となりました。主な内訳は、未払金466,464千円、長期借入金235,943千円、買掛金175,425千円であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は892,811千円となりました。主な内訳は、資本金801,818千円、資本剰余金800,460千円、利益剰余金△718,180千円であります。

なお、自己資本比率は43.9%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、860,671千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、428,885千円となりました。これは主に非資金項目の修正として減損損失59,505千円による増加があった一方で、税金等調整前当期純損失320,466千円、未払消費税等の減少額191,896千円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、122,405千円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出31,350千円、貸付による支出30,000千円、無形固定資産の取得による支出28,526千円があったこと等によるものであり

ます。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、151,897千円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出91,892千円、短期借入金の返済による支出60,000千円があったこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社が事業を展開する領域においては、AI(人工知能)等の技術革新のスピードが早く、また、市場が成熟期に移行しており、今後市場環境の変化に応じて柔軟に適応することが重要と考えられます。

当社が今後さらに業容を拡大し、成長と発展を遂げるために、当社の経営陣は、変化の激しい環境の中で様々な課題に対処していく必要があることを認識し、今後も価値の高いサービスの展開と成長への投資を積極的に行い、「成長性と収益性の両立」を継続することで企業価値の最大化を図ってまいります。

2026年8月期以降も継続して、既存マンガ事業における利益確保及びエンタメ事業・RET事業の更なる成長による業容拡大、新規事業の創出による収益改善を図ってまいります。

APP事業においては、成熟期に差し掛かりつつある既存マンガアプリは利益を確実に作り出していくフェーズへと移行し、マンガアプリ自体の成長と新規事業への投資のバランスをとった事業運営をしてまいります。

更に、マンガ事業においては新たな事業領域への進出を図ってまいります。具体的には、大手出版社と協業しIPを活用した新たなビジネスの展開や情報管理の効率化を図るシステム開発の検討及び、縦スクロールマンガの受託制作から知見を深め、オリジナルIPの創出等ビジネスモデルを確立することで新たな収益源の確保を図ってまいります。

また、「uraraca」や「星ひとみの占い」を展開するエンタメ事業の収益拡大にも注力してまいります。特に、リリース以降堅調に推移してきた占い事業については、積極的な広告宣伝費等の投資を通じて既存のサービスの更なる成長を目指すとともに、占い領域における新たなサービス展開を図ることで事業規模の拡大を目指してまいります。

RET事業におきましては、「&AND HOSTEL」の運営受託や宿泊施設の利活用によるマネタイズ及び、不動産の仲介やコンサルティングの分野で収益源確保に取り組んでまいります。

このような状況の下、当社グループの2026年8月期の連結業績予想は、売上高3,072百万円（対前期比4.2%減）、営業利益0百万円（前年同期は営業損失270百万円）、経常利益0百万円（前年同期は経常損失266百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益0百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失326百万円）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）適用時期等につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

		当連結会計年度 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		860,671
売掛金		533,725
商品		1,740
仕掛品		17,849
立替金		200,259
短期貸付金		6,600
未収入金		104,329
未収消費税等		103,937
その他		44,194
貸倒引当金		△32,821
流動資産合計		1,840,487
固定資産		
有形固定資産		
建物		6,688
工具、器具及び備品		60,316
減価償却累計額		△66,344
有形固定資産合計		661
無形固定資産		
ソフトウェア		18,952
ソフトウェア仮勘定		166
のれん		38,882
無形固定資産合計		58,000
投資その他の資産		
投資有価証券		45,832
長期貸付金		20,400
敷金及び保証金		41,588
その他		13,487
投資その他の資産合計		121,307
固定資産合計		179,969
資産合計		2,020,456

(単位：千円)

当連結会計年度 (2025年8月31日)	
負債の部	
流動負債	
買掛金	175,425
短期借入金	90,000
1年内返済予定の長期借入金	31,118
未払金	466,464
未払法人税等	9,999
賞与引当金	1,268
株主優待引当金	35,975
その他	79,792
流動負債合計	890,042
固定負債	
長期借入金	235,943
繰延税金負債	1,658
固定負債合計	237,601
負債合計	1,127,644
純資産の部	
株主資本	
資本金	801,818
資本剰余金	800,460
利益剰余金	△718,180
自己株式	△578
株主資本合計	883,519
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	3,758
その他の包括利益累計額合計	3,758
新株予約権	4,136
非支配株主持分	1,396
純資産合計	892,811
負債純資産合計	2,020,456

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
売上高	3,209,035
売上原価	1,823,131
売上総利益	1,385,904
販売費及び一般管理費	1,655,955
営業損失(△)	△270,051
営業外収益	
受取利息	1,829
補助金収入	6,367
受取補償金	724
過年度消費税等	4,030
その他	78
営業外収益合計	13,030
営業外費用	
支払利息	6,870
為替差損	1,878
その他	415
営業外費用合計	9,165
経常損失(△)	△266,186
特別利益	
固定資産売却益	194
受取保険金	2,712
収益の計算方法の変更に伴う利益	※ 28,135
特別利益合計	31,043
特別損失	
減損損失	59,505
固定資産除却損	22,813
投資有価証券評価損	3,003
特別損失合計	85,322
税金等調整前当期純損失(△)	△320,466
法人税、住民税及び事業税	2,566
法人税等合計	2,566
当期純損失(△)	△323,033
非支配株主に帰属する当期純利益	3,047
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△326,080

連結包括利益計算書

(単位：千円)

当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	
当期純損失 (△)	△323,033
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	3,758
その他の包括利益合計	3,758
包括利益	△319,274
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	△322,322
非支配株主に係る包括利益	3,047

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	801,818	800,460	△392,100	△572	1,209,605
当期変動額					
自己株式の取得				△5	△5
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△326,080		△326,080
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△326,080	△5	△326,085
当期末残高	801,818	800,460	△718,180	△578	883,519

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差 額金	その他の包括利益累計 額合計			
当期首残高	-	-	-	-	1,209,605
当期変動額					
自己株式の取得					△5
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)					△326,080
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	3,758	3,758	4,136	1,396	9,291
当期変動額合計	3,758	3,758	4,136	1,396	△316,794
当期末残高	3,758	3,758	4,136	1,396	892,811

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純損失 (△)	△320,466
減価償却費	30,218
のれん償却額	10,228
減損損失	59,505
固定資産売却損益 (△は益)	△194
固定資産除却損	22,813
投資有価証券評価損益 (△は益)	3,003
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	13,147
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△456
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	11,418
受取利息及び受取配当金	△1,829
補助金収入	△6,367
支払利息	6,870
売上債権の増減額 (△は増加)	103,038
未収入金の増減額 (△は増加)	△43,571
棚卸資産の増減額 (△は増加)	4,003
前払費用の増減額 (△は増加)	△8,358
立替金の増減額 (△は増加)	19,970
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△103,937
仕入債務の増減額 (△は減少)	59,100
未払金の増減額 (△は減少)	△76,364
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△191,896
その他	△21,994
小計	△432,117
利息及び配当金の受取額	1,829
利息の支払額	△6,835
補助金の受取額	4,429
法人税等の支払額	△4,350
法人税等の還付額	8,158
営業活動によるキャッシュ・フロー	△428,885

(単位：千円)

当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△31,350
無形固定資産の取得による支出	△28,526
敷金及び保証金の差入による支出	△13,696
敷金及び保証金の回収による収入	97
投資有価証券の取得による支出	△20,000
有形固定資産の売却による収入	205
事業譲受による支出	△6,700
貸付けによる支出	△30,000
貸付金の回収による収入	13,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△5,445
その他	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122,405
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	△60,000
長期借入金の返済による支出	△91,892
自己株式の取得による支出	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△151,897
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△703,188
現金及び現金同等物の期首残高	1,563,860
現金及び現金同等物の期末残高	860,671

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更)

当連結会計年度より、株式会社サウスワークスの株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を、当連結会計年度の期首から適用しております。これによる連結財務諸表への影響はありません。

(連結損益計算書関係)

※ 収益の計算方法の変更に伴う利益

当連結会計年度において、APPセグメントの一部取引先との間で、取引先からの要請に基づき当社の広告収益の計算方法を見直す事に合意した為、収益の計算方法の変更に伴う利益28,135千円を特別利益に計上しております。

(セグメント情報等に関する注記)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

各報告セグメントは、それぞれ特徴の異なる商品を取り扱っており、収益・財務構造及び営業戦略が異なることから、それぞれ独立した報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

APP事業は、主に、アプリの開発及び運営、アプリ内のモバイル広告枠の販売、インターネット広告の代理サービス等を行っております。

RET事業は、主に、スマートホテル「&AND HOSTEL」の企画開発及び運営、不動産アドバイザー業務等を行っております。

(3) 報告セグメントの変更等に関する情報

当社は、株式会社サウスワークスの株式を取得し、同社を新たに連結の範囲に含め、「APP事業」の報告セグメントに追加しております。

なお、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度に係るセグメント情報は記載しておりません。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業損失ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	APP事業	RET事業	計		
売上高					
マンガ	2,084,272	—	2,084,272	—	2,084,272
占い	864,444	—	864,444	—	864,444
&AND HOSTEL	—	44,657	44,657	—	44,657
不動産関連	—	74,385	74,385	—	74,385
その他	114,447	—	114,447	26,783	141,231
顧客との契約から生じる収益	3,063,165	119,042	3,182,207	26,783	3,208,991
その他の収益	—	44	44	—	44
外部顧客への売上高	3,063,165	119,087	3,182,252	26,783	3,209,035
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,063,165	119,087	3,182,252	26,783	3,209,035
セグメント利益又は損失(△)	59,926	27,996	87,923	△3,382	84,540
セグメント資産	986,354	65,875	1,052,230	10,120	1,062,350
その他の項目					
減価償却費	20,988	819	21,808	179	21,988
のれん償却額	10,228	—	10,228	—	10,228
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	55,453	—	55,453	—	55,453

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にマンガのIPを広告等に活用する事業であります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	当連結会計年度
報告セグメント計	3,182,252
「その他」の区分の売上高	26,783
連結財務諸表の売上高	3,209,035

(単位：千円)

利益又は損失	当連結会計年度
報告セグメント計	87,923
「その他」の区分の損失(△)	△3,382
全社費用(注)	△354,591
連結財務諸表の営業損失(△)	△270,051

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	当連結会計年度
報告セグメント計	1, 052, 230
「その他」の区分の資産	10, 120
全社資産(注)	958, 105
連結財務諸表の資産合計	2, 020, 456

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計	その他	調整額	連結財務諸表計上額
	当連結会計年度	当連結会計年度	当連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	21, 808	179	8, 230	30, 218
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	55, 453	—	30, 246	85, 699

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない本社備品の取得価額であります。

5 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	APP事業	RET事業	計			
減損損失	6, 191	—	6, 191	—	53, 313	59, 505

(のれんの金額の重要な変動)

当連結会計年度において、株式会社サウスワークスの株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、「APP事業」において、のれんが38, 882千円増加しております。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり純資産額	78.79円
1株当たり当期純損失(△)	△28.95円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載していません。

2. 1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり当期純損失	
(算定上の基礎)	
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	△326,080
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	△326,080
普通株式の期中平均株式数(株)	11,261,696
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかつた潜在株式の概要	—

(重要な後発事象)

(資本金の額の減少及び剰余金の処分)

当社は、2025年10月15日開催の取締役会において、2025年11月26日開催の第11回定時株主総会に、資本金の額の減少及び剰余金の処分について付議することを決議しております。

1. 資本金の額の減少及び剰余金の処分の目的

現在まで生じていた繰越利益剰余金の欠損を填補し、今後の資本政策の柔軟性を図り、適切な税制への適用を通じて財務内容の健全性の向上を目指しながら、柔軟かつ機動的な株主還元策等を実施できる体制を確保するためあります。

2. 資本金の額の減少の内容

(1) 減少する資本金の額

資本金の額801,818,885円のうち、731,818,885円を減少して、70,000,000円とし、減少する資本金の額の全額をその他資本剰余金に振り替えます。

なお、減資の効力発生日までに、当社が株式を発行した場合又は当社に対して新株予約権の行使があった場合、減少後の資本金の額が変動いたします。

(2) 資本金の額の減少の方法

発行済株式総数の変更は行わず、資本金の額のみを減少します。

(3) 資本金の額の減少が効力を生ずる日

2026年1月5日を予定しております。

3. 剰余金の処分の内容

会社法第452条の規定に基づき、上記の資本金の額の減少の効力発生を条件に、上記2.(1)の振り替えられたその他資本剰余金のうち、715,702,701円を繰越利益剰余金に振り替えることで、欠損填補に充当いたします。

(1) 処分する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 715,702,701円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 715,702,701円

(3) 剰余金の処分が効力を生ずる日

2026年1月5日を予定しております。

4. 日程

取締役会決議	2025年10月15日
株主総会開催日	2025年11月26日 (予定)
債権者異議申述公告日	2025年11月27日 (予定)
債権者異議申述最終期日	2025年12月29日 (予定)
効力発生日	2026年1月5日 (予定)